

輝け！しみずっ子

秋～しみずっ子の輝く時は今！！

校長 富岡 薫



2学期が始まり、運動会に向けて取り組む子どもたちの元気な声が学校に響いています。学校の主役は、とりもなおさず子どもたちです。しみずっ子の明るい笑顔を見て、『素敵だな、この笑顔を大切に育みたいな』と思いを新たにしました。

2学期は、運動会をはじめ、楽しい行事が計画されています。また、学習の力が大きく伸びる時期でもあります。そして仲間たちとともに、学級や学校をより良くし、友達の輪を広げるチャンスです。

子どもたち自身の手で主体的にのびやかに、清水小学校をもっともっとよくしてほしいという願いから、始業式では、「しみずっこ かがやきプロジェクト」という話をしました。子どもたちに示した3つの約束に込めた願いを紹介します。

1 「自分から 輝こう」

「あれしなさい、これしなさい。」と言われて行動するのは、楽しくありません。一生懸命考える力、頑張る力、友だちに親切にする力…子どもたちは、たくさんの力をもっています。「よし、やってみよう」とまずは、思ってみることがスタートライン。「自分からすすんでやってみる」からこそ、大きな力を発揮できます。主体的に学ぶ・考える・行動する生き生きとした姿に期待していきたいと考えます。

2 「あったか言葉で、友だちを輝かせよう」

素直で明るいしみずっ子ですが、望ましい人間関係づくりをしていく過程では、困難も課題もあります。そもそもこの世界は、自分と同じ考えの人ばかりではないのですから、理解し合い、認め合い、助け合うのは、大人だって容易ではありません。子どもたちは、一人一人がいつも一生懸命です。そして、成長の過程にいます。それ故に自分の考えや気持ちに素直でありすぎてしまい、友だちの気持ちが見えなくなることも時にはあります。残念ですが、嫌なことを言われて悲しい気持ちになったり、あるいは、感情のコントロールが適切に働かず友だちに嫌な思いをさせてしまうことや、嫌な気持ちにさせてしまっていることに気付かなかったりすることもあります。それを自分たちで解決することもまだまだ難しい場合もあります。

だからこそ、私たち大人は、小さなトラブルや小さな変化を見逃さず早期解決できるように導く努力、仲間と過ごす中で『望ましい人間関係』を築いていくための、より良い働きかけを学ばせる努力をしています。886人、一人一人が大切な存在です。

このような思いから、子どもたちに「だれも友だちを馬鹿にしない学校に」「みんなが友だちを大事にできる学校に」また、友だちを大事にする「はじめの一步」として「あったか言葉」でいっぱい学校にしようと話しました。「ありがとう」「たすかったよ」「うれしいな」「すごいね」でいっぱいの清水小にするために、繰り返し何度でも『子どもたちの心に届け』と願いながら、働きかけます。

3 「ABCで、学校を輝かせよう」

「ABCの合言葉」は、ある中学校の先生から教えていただきました。「Aは、あたりまえのことを」「Bは、ばかにしないで」「Cは、ちゃんとやる」という合言葉だそうです。子どもたちの毎日に「当たり前のこと」は、たくさんあります。いやだなと思ったり、めんどくさいと思うことも、時にはあるかもしれません。「当たり前のことを馬鹿にしないでちゃんとできること」は、20年後、30年後の幸せな未来につながる大事なことだと思います。当たり前の積み重ねが自分を強く育て、よりよい学校を創り、よりよい未来につながるのだと思います。

真剣に耳を傾け、聞いてくれた子どもたちに大きな期待で胸が膨らみます。2学期はじめの行事、避難訓練は、実に立派でした。次は、9月29日(土)運動会～自分から進んで、友だちと温かい人間関係を築きながら、一人一人が大きく輝いてほしいと願っています。頑張る子どもたちにあたたかい応援をよろしくお祈りします。

清水小学校運動会【お願い】

<運動会「はちまき」について>

今年度より、熱中症やけが予防の対策として赤白ぼうしの上から「はちまき」を巻いて運動会を行います。「はちまき」が落ちないように赤白ぼうしの白面に「はちまき」を縫い止めることを推奨します。(全体にはではなく数か所をかまいません。)

また、ゴムひものついたものをかぶるようにしていますので、合わせてよろしくお願いいたします。

なお、運動会終了後に各自のはちまきは、洗濯・アイロンがけしたのち学校へ返却してもらいますのでよろしくお願いいたします。



<水筒の中身の補充について>

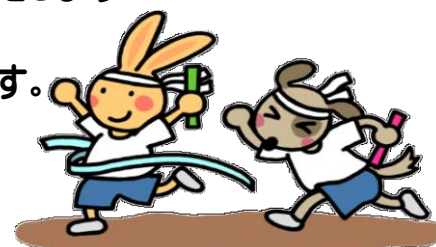
9月29日(土)、8:45より開会式が始まります。

子どもたちは1日、主に応援席で過ごしますので、水筒の中身が空になってしまいます。そこで、お昼休みに中身の補充をお願いいたします。

スローガンは「全力全身 光輝け しみずっ子」です。

子どもたちの心に残る運動会になりますよう、

ご協力をお願いいたします。



新学習指導要領(2020年度全面実施)について

教務 田口 真由美

再来年度から全面実施される新学習指導要領では、全体を通して「何を学ぶのか」「何ができるようになるか」「どのように学ぶのか」が重視されています。子どもたちが日常生活で直面する様々な課題を解決していくために、もっている知識を活用できる力を身に付けさせていきます。

育成を目指す資質・能力に、次の3つの柱があります。

- ① 知識・技能 「何を理解しているか。何ができるか。」
- ② 思考力・判断力・表現力等 「理解していること、できることをどう使うか。」
- ③ 学びに向かう力 人間性等 「どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか。」

子どもたちが学習内容を人生や社会の在り方と結び付けて深く理解し、これからの時代に求められる資質・能力を身に付け、生涯にわたって能動的に学び続けることができるようにしていくことを目指します。そのために、学習の質を一層高める「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を行っていきます。

○●移行期のポイント●○

◎今年度から道徳が「特別の教科道徳」となりました。教科書と道徳ノートを使って週に1時間の授業を実施しています。

◎2020年度から3・4年生に「外国語活動」(35単位時間)、5・6年生に「外国語科」(70単位時間)が導入されます。新学習指導要領では、目標の「話すこと」が[やりとり]と[発表]に分かれ、5・6年生には「読むこと」と「書くこと」が加えられました。円滑な実施に向けて、来年度は今年度の予定時数に5単位時間プラスして実施する予定です。

◎新学習指導要領では、国語科で47都道府県名に用いる全漢字を4年生までに学習することになりました。※このように、各教科の学習には追加内容や前後の学年に移行する内容があります。2018・2019年度で移行措置に対応した指導を行っていきます。

学習時間につきましては、単元や題材などの内容や時間のまとまりを見通しながら教育課程を編成します。しみずっ子タイムの学習を短時間学習として指導計画を立て、年間授業時数に含めていきます。

